

もの言う牧師のエッセー 第235話

「世界一貧しい大統領」

質素な暮らしぶりから「世界一貧しい大統領」の愛称で親しまれる、南米ウルグアイ前大統領、ホセ・ムヒカ氏が初来日した。2010年の大統領就任時の資産は約18万円相当の自家用車だけ。任期中の5年間は大統領公邸に住まず、給料の9割を貧しい人々に寄付し、首都モンテビデオ郊外の農場の畑を耕して暮らす清貧ぶりが、国民から愛された。その好々爺ぶりと笑顔からは想像もつかないが、元左翼ゲリラで4度の逮捕、刑務所暮らし、2度の脱獄の経験があり、6発の銃弾を受けたこともあるというから驚く。

彼を有名にしたのは12年にブラジル・リオデジャネイロで開かれた「国連地球サミット」での演説だ。「私たちの目前にあるのは環境の危機ではない。政治的な危機なのだ。グローバル経済や消費主義社会をコントロールできないばかりか、逆に人類が振り回されている。」さらに、「貧しい人とは、少ししかものを持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人だ」と。

演説全文が世界に流れ、多くの人が共感し、日本でもいくつかの本が出版された。しかし、今や世界的に注目される彼だが、「みんな私のリオでのスピーチに感動したというが、あそこで言ったことは悲劇的な内容なんだぞ！」と本人は不満げだ。問題が増大しつつあるのに、目をそらし議論もしない世界の政治家に腹を立てていたようだ。 聖書は言う。

「むさぼってはならない。」

ローマ人への手紙7章7節、

と。飽きることなく欲しがり、際限なくそれを続けることをやめよと。それを続けると中毒となり、やがて抜け出せなくなる。しかし、神を敬することなくむさぼりをやめることは相当難しい。なぜなら、むさぼりとは満ち足りることを学べず、感謝が出来ないことなのだから。

2016-5-21

